

学校だより

NO 1

令和5年4月17日発行



伊勢市立倉田山中学校
伊勢市神田久志本町1645-2
校長 金森晃生
電話 22-9415
FAX 22-2198
E-mail
kuratayama@jr.ise-
mie.ed.jp

学校教育目標 「心やさしく、思いやりの心を持ち、たくましく、知性豊かな倉田山中生徒の育成」

令和5年度 始業式

◇安心して、楽しく登校できる学校を目指して◇

4月7日(金)に始業式を行い、いよいよ令和5年度がスタートしました。始業式に先駆け、新しいクラスの発表、新たに倉中に来られた方々の着任式を行いました。今年度から、伊勢市の小中学校は3学期制になります。みなさんの生活は大きく変わりませんが、始業式や終業式、定期テストの回数が変わります。まずは新しい学年、クラスで落ち着いて生活してください。7日(金)の午後には入学式を行い、131人の新入生を迎えました。2年生148人、3年生146人と合わせて、全校生徒425人、令和4年度より、少し生徒数が減りましたが、スタートしました。1年間、元気に過ごしましょう。

私は倉田山中学校が、みんなが安心して、楽しく過ごせる学校づくりを目指しています。また学校教育目標を「心やさしく、思いやりの心を持ち、たくましく、知性豊かな倉田山中生徒の育成」とし、これまで以上に「人を思いやる心」を意識し、仲間とともに「夢を持ち、常に学ぶ意欲を忘れず、命を大切にする」気持ちが育まれるよう、家庭・地域と連携しながら教育活動を進めます。生徒のみなさんも、始業式・入学式で私が話したことを、意識して生活してください。

◇始業式の話◇

2つのお願いをしました。

1つめは、目標を持ってください。目標なく生活しても1日。目標を持って、それを実現するために、何をしなければならないか考えて過ごすのも1日です。目標は、どの長さでたてるかは個人で違うと思いますが、目標を達成するために、何をすべきか考え、努力する事が大切です。つらいことや苦しいことも、あるかもわかりません。でも、一生懸命努力することで、みなさんは成長していきます。

2つめは、私は「みんなが安心して、楽しく登校できる学校」を目指しています。そのためのキーワードは「思いやりの心」です。「思いやり」とは少し、相手のことや周りの人の気持ちを考えることです。同じような言葉に「気遣い」とか「心遣い」という言葉があります。この機会に、何か言ったり、行動したりする前に、少し相手のこと、人の気持ちを考えてみてください。これまでとは違った友だちの一面が見られると思います。

◇入学式の話◇

4つのお願いをしました。

1つ目は、「夢を持つこと」です。夢は持たなければ絶対に実現しません。そして、夢を実現するために、今すぐ実行すること、長い時間をかけて実行することを、しっかり考えてみましょう。あきらめなければ、夢に近づけるはず。そのための努力をしてください。ぜひ、夢を持ってください。

2つ目は「思いやりの心を持つこと」です。隣の人の気持ちを考え、少しでもわかろうとすることです。そ

して、その人が思っていることを察し、何か行動を起こしてほしいと思います。そうすれば、みんなが安心して幸せに暮らせます。そんな心を持つ人になってください。

3つ目は、「学ぶこと」です。得意な教科だけでなく、苦手な教科も勉強することで、たくさんのことを学び、知り、そして考えます。たくさんのことを考えることによって、この先、自分が決断したり、判断したりするときの判断材料になります。判断材料が多ければ多いほど、みなさんが目指す夢に近づくことができます。その考える機会が、学校の授業です。ぜひ授業を大切にし、多くを学んでください。さらに、学校以外でも、いつでも、どこでも学ぶことを大切にしてください。

4つ目は「命を大切にすること」です。一人ひとり顔も違うし、性格も考え方も違います。でもこの世に命を受けて生まれてきたことは同じです。どの命も必要な命です。選ばれて生まれてきたのです。私は、一人ひとりはこの世に生まれ、やらなければならない使命があると思います。自分自身の命はもちろん、他の人の命も大切にしてください。

◇令和5年度 転入された教職員◇

この度の人事異動により、次の14人の方々が新たに倉田山中学校に勤務することになりました。よろしくお願い申し上げます。(敬称略)

西岡 正文教頭	伊勢市教育委員会より	中村 真実	御菌中学校より
野呂 明伸	松阪市立三雲中学校より	東浦 道範	二見中学校より
廣田 聖人	菰野町立八風中学校より	山口 しのぶ	厚生中学校より
平賀 美和	京都市公立中学校より	桐山 颯	新規採用
大西 理子	五十鈴中学校より	井上 昇	厚生中学校より
齋藤 実里	五十鈴中学校より	泉 勝人	小俣中学校より
西尾 真幸 (学校業務員)	伊勢市より	齋田 未有希 (PTA事務)	

～活躍しています 倉中～

年度末休業中にも、倉中生は様々なところで活躍し、全国大会に出場してくれました。

● 第34回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会

代表選手	男子	高屋 遼佳 (3-3)	堀井 陽向 (3-5)
		醍醐 昂汰 (3-2)	橋本 隼 (3-2)
	女子	三田 咲来 (3-1)	前田 望希 (3-4)

● 第19回都道府県対抗全日本中学女子ソフトボール大会

代表選手	岡本 藍 (3-3)	全国ベスト16
------	------------	---------

● オールジャパンスーパーキッズダンスコンテスト

中学生部門	坂村 權 (2-4)	全国3位
-------	------------	------

～保護者のみな様へ

日頃は、本校の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。また、感染症予防対策にも引き続きご協力いただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。

令和5年度がスタートしました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が徐々に収まり、少しずつコロナ禍の前の生活に戻りつつあります。学校生活におきましては、全てのことをコロナ禍以前に戻すのではなく、一つずつ見直しをしながら、これからの倉田山中学校の教育を考え、令和5年度をすすめていきます。子どもたちの安全と、自ら学ぶ力の育成を目指したいと思います。保護者のみな様には、ご理解、ご協力いただくことが多くあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。